

**大阪府障がい者相談支援アドバイザー派遣 実施状況報告
(令和3年度派遣決定分)**

令和3年度にアドバイザー派遣を実施した岸和田市障害者自立支援協議会（以下「協議会」という。）について、以下のとおり実施状況を報告する。

岸和田市障害者自立支援協議会		派遣開始	令和3年11月～
		派遣回数	4回
目的派遣	地域自立支援協議会の運営支援		
当初派遣決定理由	<p>地域自立支援協議会は、個別支援を通じて課題を抽出し、その対応策を講じることで「より良い地域に作り変えていく」仕組みとして機能していくことが求められる。</p> <p>岸和田市においては直営型において基幹相談支援センターを設置し、運営している。市直営型の共通課題として人事異動による職員の入れ替わりがある中で、その基幹としての役割を果たすよう取り組んでいる。</p> <p>現状の課題としては、運営会議が、地域課題について振り分けをするが、その課題の認識が不明確なまま定例会で検討されることや、会議自体が報告会になっている側面もあり、課題をあげても問題が大きすぎると、解決の方向性を示すことができないことがあげられる。現状地域課題の抽出と解決に向けた協議の場である地域自立支援協議会を十分に活用する流れができていない実情にある。</p> <p>また、令和3年10月から相談支援体制の再構築を行うにあたり、市内を6圏域に分けて、圏域ごとに相談支援事業所に委託して、各圏域に住む市民がより身近な地域で、障がいの種別に関わらず利用できる相談窓口を整備することとなった。喫緊の課題としてその運営があげられている。</p> <p>そこで、相談支援体制の再構築を契機に、協議会の参画者全員がその機能を十分に理解し、地域の支援レベルを向上させるという共通認識を持って主体的な参加が出来るよう、協議会の仕組みや再構築等を図る。</p>		
具体的な支援内容	<p>令和3年11月、初回の打合せにおいて、基幹相談支援センターから協議会の現状及び課題を確認するとともに、同月開催の運営会議において、実際の運営会議の様子や議論の雰囲気等を把握した上で今後の支援方針を伝えた。</p> <p>また、令和3年12月、協議会の運営会議の構成員（以下「構成員」という。）に対し、自ら参画している他の地域自立支援協議会の資料を参考にしつつ、協議会の課題に対する共通認識を持つことの重要性を伝えるとともに、現状を把握する上で協議会の運営方法等に対して意見等を書面にて提出するよう助言した。</p> <p>さらに、令和4年2月、構成員から提出された協議会への意見等の内容を確認するとともに、次回の運営会議において、協議会の現状分析をより深めるため、各部会の状況及び事業所・業務上の課題を部会の参加者から意見聴取することとした。</p>		

進捗状況と今後の見通し	<p>【進捗状況】</p> <ul style="list-style-type: none">・協議会の運営の活性化を図るため、主に運営会議における内容の見える化を提案している。・具体的には、アドバイザーは構成員に対し到達目標及びスケジュールの見える化の提案、モデルとなる地域自立支援協議会の具体的な運営などを提示するとともに、現時点においては協議会の実情や構成員の現状認識と意見等を把握することに力点を置いて実施した。今後に向けてより効果的に運営の活性化を図れるよう構成員間で目指すべき方向性の共通認識を持てるような環境作りをしている段階である。 <p>【今後の見通し】</p> <ul style="list-style-type: none">・アドバイザーは、運営の活性化に向けてより具体的な取組みを令和4年度から行うとともに、構成員以外の協議会の参画者に対しても、地域自立支援協議会の役割等の講義等を行う事により、地域自立支援協議会の目的・機能の共通認識を深めることを目指している。
-------------	--